

| 【科目名】8. 園芸療法演習 | | |
|--|------------|--|
| 【期 別】通年 | 【区 分】必修 | 【種 別】演習 |
| 【単位・コマ数】2単位・15コマ | 【時間数】22.5 | |
| 【主任教員】○豊田 正博 (15) | | |
| 【分担教員】○劔持 卓也 (15) , ○上地 あさひ (15) | | |
| 【授業のねらい】 園芸療法の実践事例を題材にして、問題解決能力を養う。 | | |
| 【日程】 | 【担当教員】 | 【授業予定】 |
| 通学2年次 5/15 (日) 1-5限 | 豊田, 劔持, 上地 | <ul style="list-style-type: none"> ●園芸療法実習Ⅱのふりかえり・まとめ ① 実習におけるリスク管理と対処 (疾患, 虫害, リスク事例) ② 心地よい緑の環境の使い方 (園芸療法における散歩とは) アルファガーデンを利用して ③ 症例検討 (健康上の課題とプラス, 焦点化, 目標設定) ④ 春から秋にかけての栽培プログラムの使い方 ⑤ 創造活動プログラムの使い方 ⑥ ハーブの手浴 ⑦ 症例検討 (健康上の課題とプラス, 焦点化, 目標設定) ⑧ 作業を活かす言葉 ⑨ 評価のしかた (目標達成度の定量的評価方法) ⑩ 報告会に向けて (パワーポイント, 報告書作成) 実習Ⅱで担当した症例についてICF図・課題・プラス・統合解釈・焦点化の確認 |
| 全寮 7/26 (火) 1-5限 | 豊田, 劔持, 上地 | <ul style="list-style-type: none"> ●園芸療法実習Ⅱのふりかえり・まとめ ① 実習におけるリスク管理と対処 (疾患, 虫害, リスク事例) ② 心地よい緑の環境の使い方 (園芸療法における散歩とは) アルファガーデンを利用して ③ 症例検討 (健康上の課題とプラス, 焦点化, 目標設定) ④ 春から秋にかけての栽培プログラムの使い方 ⑤ 創造活動プログラムの使い方 ⑥ ハーブの手浴 ⑦ 症例検討 (健康上の課題とプラス, 焦点化, 目標設定) ⑧ 作業を活かす言葉 ⑨ 評価のしかた (目標達成度の定量的評価方法) ⑩ 報告会に向けて (パワーポイント, 報告書作成) 実習Ⅱで担当した症例についてICF図・課題・プラス・統合解釈・焦点化の確認 |
| 通学2年次 8/21 (日) 1-5限 | 豊田, 劔持, 上地 | <ul style="list-style-type: none"> ●園芸療法実習Ⅲの途中経過のふりかえり・今後の展開検討 ① 事例検討 (目標, 評価法, 園芸療法計画内容のチェック) ② 作業を活かす言葉・支援 |
| 全寮 9/27 (火) 1-5限 | 豊田, 劔持, 上地 | <ul style="list-style-type: none"> ●園芸療法実習Ⅲの途中経過のふりかえり・今後の展開検討 ① 事例検討 (目標, 評価法, 園芸療法計画内容のチェック) ② 作業を活かす言葉・支援 |
| 寮通2年次合同 12/11 (日) 1-5限 | 豊田, 劔持, 上地 | <ul style="list-style-type: none"> ●園芸療法実習Ⅲのまとめ 1限: ヒヤリハット, 作業を活かす支援・言葉, 2限: 評価のまとめ方 (プロセスレコード, AHTAS, QOL-D, 目標達成度の数値化), 3限: 報告書・A3要旨作成, パワポ作成 4・5限: 個別指導 |
| 【予習課題】 | なし | |
| 【購入・参考図書】 | なし | |

| | |
|------------------|---|
| 【成績評価の方法】 | 豊田, 剣持 授業における気づきの提出, 発表内容等で評価する。 |
| 【受講生への 連絡・希望】 | <p>毎回持参するもの :</p> <p>①ノートPC</p> <p>②自分の園芸療法実習に関するデータ (詳細は別途連絡) ひな形のデータを事前にメールにて送信します。</p> <p>毎回、以下を印刷して1部持参する。(授業開始時に回収して学校で印刷)</p> <p>1) 園芸療法実習報告会で発表予定の対象者について、A4判両面を使って、最新の情報を書き入れたICF図と裏面には目標、評価状況、園芸療法計画表と実際のプログラム、変化や気づき、疑問などを書いたもの。</p> <p>2) ヒヤリハット</p> <p>また、今までSVとやり取りを行った活動チェックリストについてもデータを持参する。</p> |